

試合番号 : 261		試合会場 : 国立代々木競技場第二体育館				観客数 : 1,687	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:27		試合時間 : 02:27		主審 : 服部 篤史	
副審 : 木内 誠二		東京グレートベアーズ		VC長野トライデント		通算 9勝 24敗 ポイント : 28	
監督コメント	試合を通して常に厳しい状況が続いていました。VC長野の粘り強いディフェンスに根負けする場面もありましたが、会場に駆けつけていただいた皆様のおかげで、最後は勝ち切ることができました。明日もさらに厳しい展開になると思いますが、今シーズン最後のホームゲーム、応援よろしくお祈りいたします。本日もありがとうございます。	25	第1セット	23	監督コメント	試合を通して選手一人一人が良い集中を持って最後まで戦い抜いてくれた。第4セットでのサイドアウトがうまく取れなくなり、悪い流れで第5セットまで引きずってしまいました。第5セット、スタートは良かったが、やはりサイドアウトを簡単に取ることができず、また、少しのミスからの失点が負けに繋がってしまった。明日に向け、しっかり切り替え、最後までしっかり戦い抜きたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお祈りいたします。	
		21	第2セット	25			
		16	第3セット	25			
		25	第4セット	19			
		16	第5セット	14			
要約レポート							
今日と明日が今シーズン最後のホームゲームとなる東京グレートベアーズと、現在10位のVC長野トライデントの試合。第1セット、東京GBがアラウジョとVC長野アラウジョの両外国人選手の激しい打ち合いで幕を開け、両チーム一歩も譲らぬ得点の奪い合いが終盤まで続いた。最後はアラウジョの攻撃が立て続けに決まり、東京GBがセットを先取した。第2セット、VC長野は三輪、ドニの攻撃、工藤のブロックなどでスタートから抜け出す。東京GBも栗山を投入し、流れを変えようとするが、VC長野は波佐間の連続ブロックなどで突き放し、最後は相手のミスでセットを奪い返す。第3セット、東京GBの戸部、張が攻撃を決めると、VC長野は三輪、下川がブロックで対抗する。中盤、VC長野は三輪の活躍で抜け出すと、最後は波佐間、ドニの連続ブロックでセットを連取した。第4セット、後がない東京GBはホームの大声援を力に栗山、星野のブロック、今橋のサービスエースなどで抜け出し、備を中心としたレシーブで粘るVC長野の追撃を許さず、最後は武藤のブロックでフルセットに持ち込んだ。第5セットはVC長野がドニ、三輪のブロックなどで先制したが、東京GBは小田嶋、今橋のブロックなどで追い上げ、デュースの大接戦となった。最後は東京GB張がサービスエースを決め、大熱戦に終止符が打たれた。							
試合番号 : 262		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 1,770	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 原 啓之	
副審 : 戸川 太輔		ジェイテクトSTINGS		大分三好ヴァイセアドラー		通算 19勝 14敗 ポイント : 61	
監督コメント	まずは粘り強いプレーを見せた大分三好を讃えたいと思います。いつものメンバーではなかったが、その中でも試合に出た選手たちは自分の役割を果たしてくれたので、勝利を掴むことができました。いつも多くのご声援ありがとうございます。引き続きよろしくお祈りいたします。	25	第1セット	18	監督コメント	今日はジェイテクトの高さに苦しめられました。明日はサーブレシーブを修正し、もう一度自分たちの強みである攻撃力を活かせるよう頑張ります。たくさんの方の応援ありがとうございます。	
		25	第2セット	17			
		25	第3セット	18			
			第4セット				
			第5セット				
要約レポート							
ジェイテクトSTINGSがホーム最終週に大分三好ヴァイセアドラーを迎えるの一戦。第1セット、ジェイテクトはこの試合スターティングメンバーに入ったセッター河東、佐藤のコンビが光った。8-6の場面でジェイテクトは河東のサーブで相手を崩しチャンスボールとすると、佐藤の高さを生かしたクイックで得点する。14-18の場面での山田のサービスエースも大分三好の良さも光ったが、終盤にウルナウトで得点を重ねたジェイテクトがセットを先取した。第2セット、大分三好モグニの強烈なアタックがジェイテクトを襲うも、ハイセットからウルナウト、藤中がスパイクを決め、ジェイテクトが序盤をリードする。中盤、大分三好はこの試合乗っているジェイテクト藤中が川口がブロックし、途中から入ったセッター井口の速いトスで試合の流れを変えようとするが、最後はジェイテクトが都築の強烈なアタックでセットを連取した。第3セット、ジェイテクト河東のサービスエースで試合が始まる。西田がリリーフサーバーで出場し強烈なサーブを見せる。大分三好も食らいついたが、ジェイテクトは途中出場の柳澤がディグで活躍し、V・レギュラウンド終盤の重要な試合を、チーム一丸で勝利した。							
試合番号 : 264		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,105	
開始時間 : 14:02		終了時間 : 15:45		試合時間 : 01:43		主審 : 富田 博一	
副審 : 國頭 亮太		パナソニックパンサーズ		堺ブレイザーズ		通算 22勝 11敗 ポイント : 70	
監督コメント	素晴らしい試合でした。本当に大事な試合でした。第2セットまで調子が良かったのですが、第3セットを落としてしまい、堺の調子も上がりました。第4セットは接戦で大事なところで点を取れました。明日も大事な試合があるので集中して挑みます。応援よろしくお祈りいたします。	25	第1セット	14	監督コメント	V・ファイナルステージに向けて負けられない一戦でしたが、序盤からパナソニックに気迫あるプレーを展開され、最後まで流れを引き戻すことができませんでした。気持ちを切り替え、今日以上の気持ちを持って明日の試合に臨みます。熱い応援、ありがとうございます。明日もチーム全員で勝ちに行きます。応援よろしくお祈りいたします。	
		25	第2セット	18			
		22	第3セット	25			
		25	第4セット	23			
			第5セット				
要約レポート							
シーズン終盤、上位争いが混戦となっている中で行われたパナソニックパンサーズと堺ブレイザーズの大敗ダービー。第1セット、パナソニックはクビアクや大塚の攻撃でリードする。その後も清水の攻撃や山内、エバダンの連攻で得点を重ねてさらに点差を広げ、一気にこのセットを取る。第2セットもパナソニックは前セットの勢いそのままに終始リードする。堺はパノンや輪野が得点するも流れを引き寄せすることはできず、パナソニックがセットを連取する。第3セット、後がない堺は竹元のブロック、迫田、パノンの攻撃で反撃し、徐々にリードする。パナソニックは大塚の攻撃で点差を詰めるも、山内やエバダンの連攻で終盤に勢いに乗るが、パノンの高いアタックに阻まれ、堺がセットを取り返す。第4セット、両チームとも互いに譲らず終盤までもつれ込むが、パナソニックは西山のサービスエースを機に逆転すると、一気に流れを引き込みチームも躍動する。最後はクビアクが攻撃を決めてパナソニックが勝利し、V・ファイナルステージ進出に向けて弾みをつけた。							
試合番号 : 265		試合会場 : 沼津市総合体育館				観客数 : 2,084	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:19		試合時間 : 02:19		主審 : 村中 伸	
副審 : 小松 剛		東レアローズ		JTサンダーズ広島		通算 21勝 12敗 ポイント : 57	
監督コメント	今日はチームとして何が何でも勝利したい試合でした。一人一人が強い気持ちで臨んだ試合でしたが、序盤は硬くなってしまい、普段のプレーができませんでした。ただ、米山がコートに入ってからチームを落ち着かせてくれたことが後半の接戦につながったと思います。明日こそしっかり勝利できるよう、準備して参ります。本日はたくさんの方の応援ありがとうございました。	19	第1セット	25	監督コメント	両者にとって素晴らしい試合だった。第3、第4セットは非常に苦しい展開が続いたが、最終的には粘り勝ちができた。会場の雰囲気も大変良く、お互いがすべてを出し切れた好ゲームだったと思う。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。	
		20	第2セット	25			
		25	第3セット	21			
		36	第4セット	38			
			第5セット				
要約レポート							
V・ファイナルステージ進出に向けて負けられない東レアローズが、現在7位のJTサンダーズ広島をホームの沼津市総合体育館開館記念試合に迎える一戦。東は試合前にチーム全員が故・藤井直伸選手の背番号21のTシャツを着用して哀悼の意を捧げ、故人を偲ぶ観客が熱い声援を送る中での試合となった。第1セット、JT広島は小野寺、平井、ラッセルのスパイク、新井、小野寺のブロックで序盤からリードを奪う。東は富田、小澤、パダルのスパイクで得点するも追いつけず、JT広島がセットを先取した。第2セット、中盤まで競り合いの展開となるが、JT広島は江、新井がスパイクを決めて4点差とする。東はパダル、富田、李の攻撃で応戦するが、JT広島は安永が東のスパイクをブロックで封じるとセットを連取した。第3セット、後がない東は小澤が躍動感あふれるスパイクを決めてチームを勢いに乗せると、JT広島も安永、新井がブロックを決めて東のスパイクに反撃する。JT広島は小野寺、ラッセル、新井がスパイクで得点し、終盤に逆転。しかし、東も高橋が連続ブロックポイントで再逆転して一歩リードし、最後は富田のサービスエースでセットを奪い返した。第4セット、東は富田が攻守で活躍しチームの得点源となり、リベロ山口の好サーブレシーブや高橋のブロックポイントでリードする。JT広島はラッセル、新井、江のスパイクで同点に追いつき、デュースにもつれ込む。両チームとも総力戦となり、最後はJT広島が江のサービスエースとラッセルのスパイクで得点して大接戦を制した。							

試合番号 : 268		試合会場 : 住吉スポーツセンター				観客数 : 2,045								
開始時間 : 15:05		終了時間 : 17:37		試合時間 : 02:32		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 中山 健						
サントリーサンパズ		通算	25 勝	9 敗	19	第1セット	25	ウルフドッグス名古屋		通算	25 勝	9 敗		
			ポイント :	71	25	第2セット	23				ポイント :	71		
監督コメント	<p>本日もサンパズへのご声援ありがとうございました。非常にハードな試合となりました。ウルフドッグス名古屋の脅威的なディフェンスに勝利への執念を感じました。今日の勝利にふさわしい内容だったと思います。我々は試合序盤で少し固さが出てしまい、上手く試合に入ることができなかった点が悔やまれます。</p> <p>V・レギュラーラウンドでの対戦成績はこれで2勝2敗となりました。ファイナル4での決着がつけられるよう、残り2戦に向け、この1週間準備をしたと思う。"PLAY HARD"を普段の練習から実践し、全力を尽くすことが向よりも成長に必要なことだと思います。ファンの皆様、2日間ホームでの熱いご声援ありがとうございました。ファンの皆様、素晴らしい環境で試合をさせていただき、ありがとうございます。</p> <p>第1セット開始直後、ウルフドッグス名古屋はクレクのダイレクトスパイクなどで3連続得点する。王のサービスエースや傳田のBクイック、永露のツーアタックと多彩な攻撃を見せ、小川の好レシーブからクレクのバックアタックも決まり、WD名古屋がセットを先取る。第2セットは一転、ムセルスキーや藤中(謙)のバックアタックが決まり出し、サントリーサンパズが着実に得点を積み重ねる。最終にはリリーフサーバーで入った西田の好サーブもあり、サントリーがセットを取り返す。</p> <p>第3セットは10点過ぎまで一進一退の攻防が続くが、WD名古屋はクレクと傳田の連続ブロックが決まりリードを奪い、傳田のサービスエースや王のクイック、クレクのアタックが要所で決まり、リードを保ったままセットを奪い返した。</p> <p>第4セット、後がないサントリーは、ムセルスキーにボールを集め反撃に出る。中盤に大宅のツーアタック、小野のクイックが連続で決まり点差を広げ、最後はムセルスキーのバックアタックでセット奪い返し、セットカウントを2-2とした。</p> <p>第5セット、サントリーはムセルスキー、WD名古屋はクレクの打ち合いで始まる。WD名古屋が1点リードしてコートチェンジとなり、その後もクレクにボールを集める。最後はサントリー・ムセルスキーのバックアタックがアウトとなり、フルセットの末、WD名古屋が昨日の雪辱を果たして勝利し、V・ファイナルステージ進出を決めた。</p>													
					2				3					
要約レポート														

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :	-		第2セット				ポイント :	-	
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :	-		第2セット				ポイント :	-	
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :	-		第2セット				ポイント :	-	
監督コメント												
要約レポート												